

日本赤十字社の社会福祉とボランティア



日本赤十字社が行う社会福祉事業は、乳児院、特別養護老人ホームなどの施設運営と、それら施設を拠点とした地域住民への支援事業や、赤十字奉仕団などのボランティアによる地域福祉活動など、多岐に渡っています。

日本赤十字社は、17の都道府県において29の社会福祉施設を運営しており、直営の施設が25施設、行政から委託されている施設が4施設となっています。(平成24年12月現在)

いずれも地域社会のニーズが高いものであり、日本赤十字社が独自に行っているもの、行政からの委託を受けて行っているものと、その形態は様々です。

赤十字の社会福祉施設では、年間延べ4万8千人のボランティアのみなさんに、施設利用者への日常生活支援やレクリエーション活動など、様々なご支援、ご協力をいただいています。ボランティアのみなさんは、いまや施設運営に欠かすことのできない存在です。

今回、全国各地の赤十字社会福祉施設でのボランティア活動を紹介し、活動に関心を持つ方々に対して参加を呼びかけるため、平成24年中に各施設で特色ある活動をしてくださっているボランティアや、施設近隣に住まわれ、長年にわたり支援を続けてくださっているボランティアについて、それぞれの活動の経緯や工夫、活動に対する想いをお伝えする「ボランティア通信」を発行しました。

本冊子には、個人から団体、学生からご高齢の方に至るまで、たくさんの方々による活動内容をとりまとめています。

ボランティア活動に関心を持つ方々に、今後多くのご支援、ご協力をいただくことができるよう、職員一同力を合わせ、赤十字の社会福祉事業を推進していきます。

平成24年12月

日本赤十字社

社長

Welfare × Volunteer ボランティア通信 2012

目 次

【児童福祉施設・ボランティア通信】

●日本赤十字社医療センター附属乳児院	2
●日赤岩手乳児院	3
●秋田赤十字乳児院	4
●日本赤十字社茨城県支部乳児院	5
●富山県立乳児院	6
●松本赤十字乳児院	7
●松江赤十字乳児院	8
●徳島赤十字乳児院	9
●日本赤十字社小樽保育所	10
●日本赤十字社釧路さかえ保育園	11
●武藏野赤十字保育園	12
●赤十字子供の家	13
●青森県立はまなす医療療育センター	14
●大阪赤十字病院附属大手前整肢学園	15

【老人福祉施設・ボランティア通信】

●特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘	18
●日本赤十字社埼玉県支部特別養護老人ホーム小川ひなた荘	19
●日本赤十字社埼玉県支部特別養護老人ホーム彩華園	20
●日本赤十字社福岡県支部特別養護老人ホーム大寿園	21
●日本赤十字社福岡県支部特別養護老人ホームやすらぎの郷	22
●日本赤十字社福岡県支部特別養護老人ホーム豊寿園	23
●日本赤十字社鹿児島県支部特別養護老人ホーム錦江園	24
●那霸市安謝福祉複合施設	25

【障害者福祉施設・ボランティア通信】

●日本赤十字社北海道支部点字図書センター	28
●日本赤十字社千葉県支部義肢製作所	29
●神奈川県ライトセンター	30
●徳島赤十字ひのみね総合療育センター	31

【複合型施設・ボランティア通信】

●日本赤十字社総合福祉センター	34
-----------------	----

【資料編】

●児童福祉施設・事業の変遷	36
●老人福祉施設・事業の変遷	37
●障害者福祉施設・事業の変遷	38
●沿革 社会福祉施設の設置・運営状況	39

児童福祉施設

ボランティア通信

日本赤十字社医療センター附属乳児院 (東京都)

活躍するボランティア!!

動物ふれあい訪問活動を行う、「フレンド・ワン」さんを紹介します。この団体は、横浜市在住の伴敬子さんが、アメリカの活動を参考に10年前に立ち上げたボランティア団体です。現在15名いる会員が、一緒に暮らしている犬とともに様々な福祉施設や学校を訪れ、犬と触れ合う時間を提供する活動を行っています。普段の活動で訪れる高齢者施設では、無表情だった方に笑顔が戻り、「その犬いくらで売っていただけます?」と聞かれるほど人気者になるそうです。子ども達にとっても、優しい言葉やいたわりの心が培われ、また心を開く動機づけともなるなど、数多くの効果があると言われています。参加犬には登録・予防接種はもちろん、毎年健康診断を行って、健康管理やしつけには十分配慮がなされています。特に活動前日にはシャンプーやグルーミング、爪切りのほかに、犬たちのストレスがないか精神状態もチェックして当日に臨むそうです。



当院でのふれあい活動の様子です!
子ども達も嬉しそうに犬とふれあっています!

どんな活動をしているの??



咬んだり吠えたりすることもないのです、安心です!

当院には年に3~4回、季節の折々に訪問していただいています。犬の種類は、大型犬から小型犬まで様々です。中にはテレビに出てくるようなスター犬も登場します。初めの頃は子ども達が噛みつかれたらどうしようかと不安でしたが、そんな心配は全く無用。子どもが犬に向かってダイブしようが背中に乗っかろうが、吠えることはありません。犬は子ども達と過ごすことを“仕事”だと思っているそうです。しかし、“仕事”が終わればリラックスしてすっかり甘えます。吠えもするし、わがままもでます。「まったく人間と同じですよ」と伴さん。子ども達はもちろんですが、大人も癒されるひとときです。

医療センター附属乳児院では、個人・団体を問わず、様々なボランティアを募集しています。ご興味のある方は、当院のホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

日本赤十字社医療センター附属乳児院 住所：東京都渋谷区広尾4-1-1 電話番号：03-3400-0147
ホームページ：<http://www.med.jrc.or.jp/nyuji-in/yousu.html>

日赤岩手乳児院 (岩手県)

活躍するボランティア!!

5年ほど前から当院でカットボランティアの活動を行ってくださっている「ボーイプランニング」のみなさんをご紹介します。みなさんは、普段美容室で働いているプロの美容師です。乳児院の子ども達のヘアカットのほか、障害を持つ子どもの親御さんたちに向けた講習を行い、自宅で簡単に出来るヘアカットのワンポイントアドバイスもしていただいています。子ども達とうまくコミュニケーションをとり、交流を深めながら、幅広くボランティア活動を行ってくださっているみなさんです。

ボーイプランニングの美容師のみなさんです!
いつも素敵な髪形にしていただいています!!
(写真はヘアカットの練習風景です)



どんな活動をしているの??



かっ
こよ
くな
つた
かな?

主な活動としては、当院で年4回、子ども達の髪の毛をカットし、可愛らしく、かっこ良くしていただいています。子ども達は泣いたり動いたりするため、髪を切ることは大変ですが、そこはさすがプロ、素早い手つきで、さっと作業を終わらせてくださいます。最初は緊張した顔つきの子ども達も、髪を切ってもらいさっぱりとした自分を見て、満足そうな表情をみせています。

ボーイプランニングのみなさんの、「ボランティアすることで様々な子ども達と触れ合い、元気をもらっているんです」との温かい言葉に、職員一同感謝の思いでいっぱいです。

日赤岩手乳児院では、子どもに接することが大好きな方を、年齢問わず、ボランティアとして募集しています。興味をお持ちの方は、当乳児院のホームページをご参照の上、お気軽に問い合わせください。

日赤岩手乳児院 住所：岩手県盛岡市中央通1-4-7 電話番号：019-621-3311
ホームページ：<http://www.iwate.jrc.or.jp/101nyuji/>

秋田赤十字乳児院 (秋田県)

活躍するボランティア!!

個人ボランティアとして活躍していただいている「工藤由貴子さん」をご紹介します。工藤さんには、近所にお住まいであることから、当院が現在地に移転して以来10年以上もボランティアとしてお世話になっています。工藤さんは元保育士ということもあり、授乳や離乳食の介助もお手のもので、子ども達とのコミュニケーションもバッチリです。いつも明るい笑顔で子ども達に接してくださっています。

「何かあつたらいつでも声を掛けてください」とおっしゃってくださるなど、一緒に施設を支えていただいているます!!



どんな活動をしているの??



野菜作りの様子



どんな場面でも頼れる存在です!

主な活動として、週に1回、子ども達の衣類や寝具の整理、子ども達の食事の介助などにご協力いただいている。また、運動会などの行事では準備を手伝ってくださったり、7年前から始めた家庭菜園では畑の耕し方から野菜の栽培方法まで伝授してもらっています。おかげさまで、今年もたくさんの野菜の収穫が期待できそうです。

そして、何と言っても心強いのは災害時です。たとえ夜間の地震でも、「大丈夫?」と窓越しに声をかけてくださいます。いつもすぐ側で手助けしてくださる工藤さんは、私たちにとって大切な“養育パートナー”です。

秋田赤十字乳児院では団体・個人を問わず、洗濯物たたみや縫い物、掃除等から、行事の準備、子どもへの絵本の読み聞かせ、一緒に遊ぶことまで、様々な分野のボランティアを募集しております。特に、長期で活動していただける方は大歓迎です。ご興味のある方は当院ホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

秋田赤十字乳児院 住所：秋田県秋田市広面字釣瓶町100-3 電話番号：018-884-1760
ホームページ：<http://www.akita.jrc.or.jp/nyujiin/>

日本赤十字社茨城県支部乳児院 (茨城県)

活躍するボランティア!!

ご紹介する「茨城県支部乳児院奉仕団」は、全国でも珍しい、乳児院専属のボランティア団体です。昭和61年に授乳ボランティアとして発足し、今日までの25年間、年末年始・お盆を除く毎日、子ども達の食事の補助などの活動をしていただいています。現在90名いる団員が、それぞれ活動する曜日を決め、いつも2~3人の組で当院にいらしてくださいます。おかげさまで、子ども達は離乳食の時間、大人と1対1になり、ゆっくり食事をすることができます。授乳以外にも、みなさんそれぞれの得意な分野で活動をしていただいています。

年月と共に団員の高齢化がみられていましたが、最近新入団員が加入し、平均年齢がぐんと若返りました。



離乳食の時間の様子です!みんなのおかげで、子ども達は安心して食事をとることができます!

どんな活動をしているの??



当院院庭の整備の様子です!みんなで語らい、楽しみながら活動されています!

「授乳ボランティア」といっても、ミルクを飲ませたり、離乳食を食べさせたりするだけではなく、子どもとのスキンシップを第一の目的として、様々な活動をしていただいています。普段の活動では、抱っこをしたり、声かけをしたり、おもちゃ遊びなどを通じて、どの子ども達にも肌の温もりをいただいています。その他にも、洗濯物の整理やおもちゃの消毒、院庭の除草、院内行事のクリスマス会や親子のつどい、お祭りのお手伝いなどもしてくださり、大変助かっています。

ボランティアのみなさんのお力は、乳児院の毎日の生活に、なくてはならない存在となっています。

茨城県支部乳児院では、子どもに接する事が大好きな方を、年齢を問わず、ボランティアとして募集しています。ご興味をお持ちの方は、当乳児院のホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

日本赤十字社茨城県支部乳児院 住所：茨城県水戸市小吹町2673-1 電話番号：029-240-3800
ホームページ：<http://www.jrci.jp/nyujin.html>

富山県立乳児院 (富山県)

※日本赤十字社が指定管理者として運営しています。

活躍するボランティア!!

子どもと一对一で関わるだっこボランティアとして活動している「稻垣加菜恵さん」と「条谷好美さん」をご紹介します。この取り組みは“子ども達が大人と一緒にじっくり遊ぶ時間や、だっこしてもらう時間を今より多く持てたら”との想いで始めました。また、子ども達に同じ人と面会する楽しみも持たせたいと考えています。お二人は、“子どもが好きで、子ども達とふれあいたい”という希望から、当院に来てくださいました。

どんな活動をしているの??



こちらが稻垣加菜恵さん！

私は今年4月からボランティアとして活動をしています。月に1～3回、1回1時間程度ですが、可愛い子ども達に囲まれて楽しく充実した時間を過ごしています。活動内容は、子ども達のミルクや着替えの介助、遊び相手、スキンシップなどです。初めは不安や緊張もありましたが、子ども達の笑顔に癒され、スタッフの方々も親切に対応してくださるので、すぐに安心して活動できるようになりました。また、月に数回の限られた時間の中でも、子ども達が見せる成長に驚いたり、子ども達との距離が徐々に縮まるなどを実感できたりと、喜びが多いのもこの活動の魅力だと感じています。これからも可能な限り、子ども達の笑顔のためにお手伝いができると思います。(稻垣加菜恵さん)



こちらが条谷好美さん！お二人とも頼もしいです！

ボランティアとして月に2～3回の活動を始めてから半年が経ちます。ミルクをあげたりだっこをしたり遊んだりと初めての体験ばかりで、最初はとまどいの日々でしたが、保育士さんに1つ1つ教えてもらい、今では子ども達が笑ってくれたり、近寄ってきたり、話かけてくれたり、楽しい時間を一緒に過ごしています。また、ハイハイだった子が歩けるようになったり、恥ずかしがりやの子が笑いかけてくれるようになったりと、毎週子ども達の成長を感じています。これからも一緒に楽しい時間を過ごし、子ども達の成長を見守っていきたいと思います。(条谷好美さん)

富山県立乳児院では、引き続きだっこボランティアを募集しています。ボランティアに興味をお持ちの方は、当院ホームページをご参照の上、ぜひお気軽にお問い合わせください。

富山県立乳児院 住所：富山県富山市牛島本町2丁目1番38号 電話番号：076-432-8137
ホームページ：<http://www17.ocn.ne.jp/~nyu-jiin/>

松本赤十字乳児院 (長野県)

活躍するボランティア!!

20年以上にわたり毎年、季節ごとに行事食を作っていただいている、「日赤松本市奉仕団本郷分団」をご紹介します。松本市の本郷地区にお住まいのみなさんは、いつも30名前後のグループで、年に数回交代で行事食作りに来てくださっています。それ以外にも、乳児院まつりへの参加や、外国人の母親向け日本語教室開催時の託児など、多方面でご活躍いただいているます。

ここ20年で平均年齢が多少(?)上がり、活動も少し大変になってきたとおっしゃる一方、「子ども達の健やかな成長のお手伝いが少しでも出来れば」と、心強いお言葉をいただいている。このようなお言葉は、私たち乳児院職員に勇気と元気を沢山くださり、日々の原動力にもつながっています。



「子ども達がお腹空かせて待ってるからねー！」
と、みなさん真剣な顔でアンパンマンのやしょうま作り！

どんな活動をしているの??



アンパンマンと
桜のやしょうまが
できました！



おいしそう！
早く食べたい
なー！！

春夏秋冬季節ごとに当院を訪れ、調理をしてくださっています。春は「花寿司」夏は「七夕まんじゅう」秋は「おはぎ」冬は「やしょうま」と、みなさんが作ってくださるものは、どれも松本地方の季節や行事にちなんだものばかりです。初めはみなさんが自発的に作ってくださいましたが、子ども達も職員もあまりの美味しさと出来栄えにびっくりし、リクエストさせていただくようになりました。出来上がった料理を子ども達がおいしそうに食べる姿を見て、目を細め嬉しそうに微笑まれるみなさん。その優しい眼差しに出会えることを、今後も楽しみにしています。



パッと咲いた
きれいな
お花寿司

松本赤十字乳児院では、保育支援や生活支援、行事支援など、様々な分野のボランティアを募集しています。ご興味のある方は、当院ホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

松本赤十字乳児院 住所：長野県松本市岡田松岡49-2 電話番号：0263-46-4630
ホームページ：<http://masenyu.my-sv.net/>

松江赤十字乳児院 (島根県)

活躍するボランティア!!

松江赤十字乳児院では、団体で4グループ、個人では大学生や社会人など13人のボランティア方々にご協力をいただいており、どの方も、それぞれ自分の得意な分野で大活躍していただいている。ご自身で無理のない計画を立てられ、ボランティア活動を心から楽しまれるので、長いお付き合いになる方が多いのが特色です。施設の夏祭りには、ボランティアの方々の中学生のお子さん達も、お手伝いにきてくださいました。施設の子ども達も大好きな、頼もしいみなさんです。

ボランティアの方と職員の交流を
深める交歓会でのひとこま



どんな活動をしているの??



団体4グループの方々には毎月、手作りおもちゃづくり、衣類たたみ、縫製、遠足等お出かけの際の子どもの付添などをお願いしています。個人ボランティアの方には、赤ちゃんをだっこしてもらいミルクを飲ませていただきたり、歩ける子ども達とは、園庭などで思いっきり遊んでいただいている。また、各種イベントの際には、ボランティアの方に子どもに付き添っていただいて、一緒に何かをするという、子ども達にとって温かくうれしい体験をさせてもらっています。大学生ボランティアの方からは、子ども達と仲良くなっていく過程が楽しい、感動するという声も聞かれ、和気あいあいとした施設づくりに貢献していただいている。

松江赤十字乳児院では、子どもに接することが好きな方、おもちゃづくりや衣類たたみにご協力いただけるボランティアの方を、年代を問わず募集中です。興味をお持ちの方は、当乳児院ホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

松江赤十字乳児院 住所：島根県松江市南田町162 電話番号：0852-24-6417

ホームページ：<http://www.mable.ne.jp/~mrc-nyuji-in/index.html>

徳島赤十字乳児院 (徳島県)

活躍するボランティア!!

毎月15日に当院にボランティアに来ていただいている、「天理教徳島区勝浦分支部」のみなさんをご紹介します。みなさんは、昭和50年7月以来40年近くも当院でボランティアをしてくださっています。毎年、年明けの15日から始まり、忙しいお盆の時期もお手伝いくださいます。いつもお弁当持参で来てくださり、午前10時から午後3時まで活動していただいていることを、本当にありがとうございます。ご高齢の方も多く、温かい笑顔で乳児院を包んでくださる、素敵なみなさんです。当院創立50周年誌の発行の際には、天理教支部長さんから「『感謝・憤み・助け合い』をキーワードとして、共に頑張りましょう」との寄稿をいただきました。当院にとって、みなさんは大変頼もしいサポーターとなっています。



子ども達のパジャマの裾上げ作業の様子です!
毎月5, 6名の方に来ていただいています!!

どんな活動をしているの??



敬老の日に子ども達から
みんなにおれをしました!!



活動としては、男性の方には主に草刈りや戸外の清掃、女性の方には主に、寄付としていただいたパジャマの裾上げや衣類の補修、ボタン付けなどの裁縫等をお願いしています。当院は現在でも布おむつを利用しているため、ボランティアのみなさんが心をこめて縫ってくださったものを、ありがとうございます。

今後とも、みなさんがお元気でボランティアに来ていただけることを、職員一同願っております。

徳島赤十字乳児院では、個人・団体ボランティアを募集しています。子ども達とのふれあいや、活動にご興味のある方は、当院ホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

徳島赤十字乳児院 住所：徳島県小松島市中田町字新開2-2 電話番号：0885-32-0555
ホームページ：<http://www18.ocn.ne.jp/~t.nyuji/>

日本赤十字社小樽保育所 (北海道)

活躍するボランティア!!

小樽保育所では毎年、カレーライス作りや夕涼み会など保育所の行事の際、小樽市赤十字奉仕団や地域の方々に、ボランティア活動へのご協力をいただいています。高校生からお年寄りまで様々な年代の方にご協力いただき、園児の成長や地域に根差した施設づくりの、大きな力となっています。

みなさんにお手伝いいただいた
カレー作りの様子



どんな活動をしているの??



完成したカレー!いただきます!

毎年、保育所の行事として行っている「カレーライス作り」には、主に地域のお年寄りや赤十字奉仕団員の方々に、準備から後片づけまで、ご参加ご協力をいただいています。この行事は、園児と人生経験豊かなお年寄りが、一緒にカレーライスを作ることでお互いの心の触れ合いを深め、園児の人格形成に良い効果が得られることを期待して行っているものです。また、交流を通じて地域の方々と保育所の関係がより密接なものとなり、地域のコミュニティづくりにも役立っているため、参加されたお年寄りにも喜ばれています。

毎年敬老の日に近い時期に行うこの行事では、100人を超える人数分のカレーライスを作りますので、みなさんのご協力に心から感謝をしています。

小樽保育所では、主に小樽市赤十字奉仕団を通じてボランティア活動への協力をお願いしていますが、今後は個人のボランティアの方の募集も検討しております。昨年度は、地域の高校生のインターンシップの受け入れも行いました。保育の分野に興味のある方、施設の行事に参加いただける方は、日本赤十字社北海道支部のホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

日本赤十字社小樽保育所 住所：北海道小樽市緑1-9-9 電話番号：0134-22-5223

ホームページ：http://www.hokkaido.jrc.or.jp/m2_09fukushi.html

日本赤十字社釧路さえかえ保育園 (北海道)

活躍するボランティア!!

当園と同じ釧路市内で青少年赤十字に加盟している「武修館高等学校」の生徒のみなさんと、「釧路市地区赤十字奉仕団」のみなさんをご紹介します。若者からご高齢の方まで様々な年代のみなさんに、子ども達が心豊かに成長していくようにとのご配慮をいただき、多様な活動を通じて、子ども達に貴重な経験をさせていただいている。人との関わりが薄くなっているようにも思える現在にあって、いろいろな年代の方たちと交流できることは、子ども達にとって大いに刺激になっており、職員一同大変感謝しています。



奉仕団の方におはいきを教えていただいています！

どんな活動をしているの??



武修館高等学校のみなさんと一緒に遊んでもらい、みんなとても楽しそうでした！

武修館高等学校のみなさんには、5年ほど前から子ども達の徒歩遠足に同行していただき、往復の道の安全配慮などをお願いしています。子ども達にとってみなさんは、頼もしく優しい、兄姉のような存在です。また、敷地内の雑草抜きなどの環境の整備にもご協力をいただいている。

釧路市地区赤十字奉仕団のみなさんとは、年に1度、「むかしあそび」を通した異年齢交流を行っています。おはじき、おてだま、こま、竹とんぼ、けん玉、カルタなどを教えていただきながらゆったりと過ごす時間は、子ども達にとって、いつもとは一味違った楽しいものようです。みなさんが帰る時間になると、子ども達は寂しそうな表情を見せています。またそれ以外の活動では、避難訓練と合わせて炊出しをしていただいたこともあります。どのボランティアの方もとても頼りになり、当園にとって非常にあり難い存在となっています。

釧路さえかえ保育園では、様々なボランティアを募集しています。子どもに接することが大好きな方は、日本赤十字社北海道支部の当園紹介ホームページをご参照の上、当園までお気軽にお問い合わせください。

日本赤十字社釧路さえかえ保育園 住所：北海道釧路市幸町11-1-1 電話番号：0154-22-6339

ホームページ：http://www.hokkaido.jrc.or.jp/m2_09fukushi.html

武藏野赤十字保育園 (東京都)

活躍するボランティア!!

杏林大学医学部の学生さんで構成され、当園で毎年活動をしていただいている、「ぬいぐるみ病院部」のみなさんをご紹介します。ぬいぐるみ病院部の活動は主に、学生と子ども達との間でぬいぐるみを用いた診療のロールプレイを行う「模擬診察」と、学生が保健教育指導を行う「保健教育」の二部から構成されています。これらは、子ども達が病院を受診する際の不安を少しでも和らげたり、家族や友達で体調の悪い人がいた時に気遣えるようにすることを、主なねらいとしています。

学生のみなさんはお忙しい中、毎年5月の連休の合間に、約20人程で来園し、活動をしてくださっています。



ぬいぐるみを用いた模擬診察の様子です!
子ども達は真剣に取り組んでいます!!

どんな活動をしているの??



子ども達は手洗いの歌をみんなで
歌ったりし、楽しく学んでいました!!

模擬診察では、子ども達は自分の選んだぬいぐるみを身内の患者に見立て、性別、名前、どこの具合が悪いのかを自由に設定し、病院の先生（学生）から診察を受け、薬局で薬をもらいます。また、模擬診察の最後には、「生きているということ」を実感するため、子ども達が自分自身の心音を聴診器で聞くという体験もさせていただいている。保健教育では、学生さん達による紙芝居、劇、歌などを通して、普段生活していく中でどうすれば健康でいられるかを、子ども達が楽しみながら学んでいます。

当園では、ぬいぐるみ病院部さんの活動のように、いのちの大切さについて子ども達が考えられるような「いのちの授業」を、積極的に行っていくことを考えています。

武藏野赤十字保育園では、行事等に合わせてボランティアのご協力をいただいている。ボランティア活動に興味をお持ちの方は、ホームページをご参照の上、お問い合わせください。

武藏野赤十字保育園 住所：東京都武蔵野市中町3-25-7 電話番号：0422-52-3298

ホームページ：<http://www.tokyo.jrc.or.jp/shisetsu/hoikuen.html>

赤十字子供の家 (東京都)

活躍するボランティア!!

定期的に活動していただいている、こども教育宝仙大学ボランティアサークル「四ッ葉クラブ」さんを紹介します。

こども教育宝仙大学こども教育学部幼稚教育学科の44名で構成される四ッ葉クラブさんには、毎回20名前後、ボランティア活動に来ていただいている。施設では職員の配置基準等の問題もあり、普段子ども達に対して1対1で関わることが難しい状況にあるため、ボランティアさんにはそこを補う関わりをお願いしています。遊びの中で子ども達は思いを十分受け止めてもらったり、とても楽しく過ごすことができています。また多人数で遊ぶ時は、子どもへの言葉掛けや援助等を大学での学習から工夫したり、子どもの安全面を配慮しながら活動してくださるため、安心してお任せすることができます。クラブの皆さん自身からは、子ども達からたくさんパワーをもらえるとの声が聞かれるなど、互いに気持ちよく過ごせる、雰囲気の良い施設づくりができています。



こども教育宝仙大学ボランティアサークル四ッ葉クラブです!自分たちも子ども達と一緒に楽しみながら活動させていただいています!!

どんな活動をしているの??



四ッ葉クラブさんには、月1回、居室や庭園で子ども達と遊んでいただいたり、施設行事で出かける際には、子ども達の引率のお手伝いをお願いしています。また、施設行事のひとつである夏祭りの際には、会場の設営や、ゲーム等のブースの担当、後片付けまで、運営全般に協力していただいている。それ活動後には、職員を交えての反省会を行い、次回の活動に活かせるよう話し合いをしてくださっています。

こども宝仙大学の学園祭の際には、子ども達を招待していただき、模擬店を巡ったり、学生が考えて作った昼食と一緒に食べたりするなど、子ども達にとってうれしい体験をさせてもらいました。赤十字子供の家との良好な関係を築いてくださっている四ッ葉クラブさんは、今や施設にとって無くてはならない存在です。

赤十字子供の家では、ボランティアに限らず、紙おむつ等の日用品や、子ども達が遊べるおもちゃや人形等のご寄付も受け付けています。ご協力いただける場合は、ホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

赤十字子供の家 住所：東京都武蔵野市境南町1-26-1 電話番号：0422-31-8283

ホームページ：<http://www.tokyo.jrc.or.jp/shisetsu/kodomo.html>

青森県立はまなす医療療育センター (青森県)

※日本赤十字社が指定管理者として運営しています。

活躍するボランティア!!

八戸看護専門学校のボランティアサークルである、「八看レディース」さんをご紹介します。みなさんは、看護師を目指し日々勉学に励んでいる21名の学生です。「自分達が障害のある方とどう関わるのか」「障害のある方との関わり方を少しでも学びたい」という思いから、今年の6月にボランティアを希望されてきました。

施設の入所児・者の、「誰かに会って欲しい、自分と遊んで欲しい」という思いは大きいものです。しかし、職員の配置数等の問題もあり、日常的にこれら全ての思いには答えられない現状があります。このような現状の中、少しでもお手伝いをお願いしたい当施設側の希望と、学生達のボランティアの希望が、お互いに良いタイミングで重なり、みんなの受け入れに繋がりました。



何の歌を聴こうかな～??

どんな活動をしているの??



今日のマニキュアは何色がいいかな?
誕生日に貰った青に決定!

「八看レディース」さんには土曜日の10時から12時まで、肢体不自由児病棟2名、重症心身障害児病棟2名でボランティア活動をお願いしています。入所児からはいつも「お姉さん来るの? お兄さん来るの?」との声が聞かれ、既に気になる存在となっています。肢体不自由児病棟では、言語でコミュニケーションが取れる入所児との話し相手や、トランプ、カルタ取り、本の読み聞かせなどの活動を行っています。重症心身障害児病棟では、入所児・者と一緒に音楽ビデオを観たり、身だしなみを整えたり、マニキュアをしたりといった活動を行っています。特にマニキュアは大好評でした。

「ボランティアさんが来ると、入所児・者の表情が生き生きとしてとてもいいです」と、職員から良い反応が聞かれます。入所児・者も職員も、みんなが来ることを楽しみにしている今日この頃です。

当センターでは、多くのみなさんにボランティア活動をしていただいている。ご興味のある方はぜひ一度、当センターもしくは日本赤十字社青森県支部に、お気軽にお問い合わせください。

青森県立はまなす医療療育センター 住所：青森県八戸市大字大久保字大塚17-729 電話番号：0178-31-5005～6
ホームページ：<http://www.aomori.jrc.or.jp/hamanasu00.html>

大阪赤十字病院附属大手前整肢学園 (大阪府)

活躍するボランティア!!

「オステック（大手前整肢学園定期交流会）」という名称で活動をしていただいている学生ボランティアを紹介します。みなさんは当初、日本赤十字社大阪府支部の奉仕団として、子ども達向けのキャンプ運営などの活動をしていました。しかし、平成11年度に、もっと子ども達と関わりたいという学生達の希望と、入園児の園生活の充実化のためにボランティアの力を借りたいという当園職員の思いが重なったため、新たにオステックとして団体が結成されました。現在月4回の活動を基本として子ども達と遊んでいただき、また行事等にも参加してくださっています。今ではなくてはならない、大手前整肢学園のサポートボランティアです。



子ども達の目線になって、
一緒に遊んでくださっています!!

どんな活動をしているの??



一回の活動につき10名から20名の方に
来ていただいているため大助かりです！

幼い子ども達は、一緒に遊んでもらうことを楽しみにしています。「オステックのお兄ちゃんとお姉ちゃんが来るよ」と声かけをすると、子ども達は笑顔で「やったー！いつ来るの？まだ？」と楽しみに待っています。また年齢の高い子ども達は、良き友人として相談相手になっていたいなど、会話を楽しんでいます。各種行事の際には会場設営から後片付けまで手伝ってくださるほか、園外活動などで人手を要する時にすぐに多くのボランティアを集めてくれたりするなど、活動の範囲も広がっています。学生グループのため、学年が上がると就職活動も忙しくなりますが、先輩から後輩へと、思いは引き継がれていきます。就職しても当園を訪れる方はたくさんおり、子ども達、職員、ボランティアの絆も結ばれています。

大手前整肢学園では、子ども達の遊び相手になってくださるようなボランティアを募集しています。ボランティアにご興味のある方は、当園ホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

大阪赤十字病院附属大手前整肢学園 住所：大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30 電話番号：06-6775-1900
ホームページ：<http://www.osaka-med.jrc.or.jp/seishi/index.html>

老人福祉施設

ボランティア通信

特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘 (岩手県)

ボランティア活動を通じての介護体験！

日赤鶯鳴荘では毎年、5月6日～12日の看護週間と5月12日の看護の日に合わせて、地域の学校から看護師や介護士を目指す学生や生徒を、介護体験で受け入れています。平成24年度は岩手看護短期大学、盛岡市立高等学校、岩手県立雲石高等学校から合計10名の学生などが参加し、ご利用者との交流を通して、介護の現場の苦労ややりがいを学びました。

岩手看護短期大学のみなさん！



どんな活動をしているの??



未来の看護師、介護士です！
ご利用者と自然な交流ができていました！

介護体験では、施設内の見学をした後、ご利用者の入浴後の衣類の着替えや、髪のドライヤーかけ、配茶、食事の配膳、ご利用者とのコミュニケーションなどを行いました。入浴後のご利用者に「お風呂はどうでしたか」と優しく声をかけ、「ありがとう、気持ちよかったです」と言われると、学生たちはほっとした表情を見せっていました。

学生の感想としては、「短い時間でしたが、昨年の経験を活かしてご利用者と触れ合うことができ、ステップアップ出来た。また初めての方も積極的にコミュニケーションを図ることが出来て良かった」とのことでした。また、「ご利用者としっかりお話を出来た。みんなに笑顔で話しかけていただけて嬉しかった。この体験で更に介護士になりたいという思いが増した」と、介護の仕事への関心を高めている声も聞かれました。本当に短い時間でしたが、今回の体験を糧にして、自分の目指す理想の看護師、介護士像に少しでも近付けるよう、頑張ってほしいと思います。

日赤鶯鳴荘では、施設の活動に興味のある方、介護分野の勉強をされている方のボランティアの受け入れを、積極的に行ってています。ご興味のある方は、当園ホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘 住所：岩手県岩手郡雲石町南畠第32地割263番地 電話番号：019-695-2131
ホームページ：<http://www.oumeisou.jrc.or.jp/>

特別養護老人ホーム小川ひなた荘 (埼玉県)

活躍するボランティア!!

開園当初から長年活動していただいている、小川町ボランティアグループ「ふれあい」さんをご紹介します。来年で設立30周年を迎えるふれあいさんは、現在28名で活動し、当園のほか、小川町の近隣施設においても定期的にボランティア活動を行っています。

ふれあいの会長である森明子さんは、「ボランティアを通じて、メンバー同士やご利用者との親睦を深めること」をモットーに、いつも精力的に活動されています。森さんは「長年にわたりボランティア活動に取り組んでいるので、ご利用者とお互い親しみをもって関わっていける」とおっしゃる一方、「現状では、会員の高齢化や新規会員の減少など、課題も抱えている」と話してくださいました。しかしながら、当園にお越しいただいているふれあいのみなさんは、元気いっぱい明るく、若々しい方ばかりです。



「利用者のみなさんが作った貼り絵を出展した、「福祉祭り」でのひとこまでです。
後ろのお二人が、ふれあいの方々です!!」

どんな活動をしているの??



「協力いただいた盆踊りでのかき氷づくり!」



「レク外出でのみなさんとのひとこま」

主な活動は、月2回の一般浴の着脱介助、月3回のシーツ交換を行っています。また月1回のふれあいタイム（レクリエーション）の時間を設け、ご利用者と交流しています。園内行事では、盆踊りやショッピングの同行など、広範囲にわたり定期的な活動をしていただいている。

ベテランぞろいのふれあいのメンバーによる心強い支えを受けながら、ご利用者にとって過ごしやすい環境づくりを進めていきたいと考えています。

小川ひなた荘では、ご利用者のお話し相手や歌の出し物など、特にご利用者とのコミュニケーションが図れるようなボランティアを募集しています。ご興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

特別養護老人ホーム小川ひなた荘 住所：埼玉県比企郡小川町大字小川1548-1 電話番号：0493-74-2191
ホームページ：<http://www.saitama.jrc.or.jp/enterprise/fukushi/>

特別養護老人ホーム彩華園 (埼玉県)

活躍するボランティア!!

昨年5月からハーモニカ演奏のボランティア活動をしていた「堀江宏さん」をご紹介します。堀江さんはこのボランティア活動を、定年退職後から様々な施設で行っていて、今年9月で10年目を迎えるそうです。当園には介護職員の紹介で来ていただけたようになりました。堀江さんのボランティアのきっかけをお聞きすると、「両親を早くに亡くし、親孝行ができなかったので、施設の年輩の方を両親だと思って親孝行をしている」とのこと。ハーモニカの演奏には自信があるため、いつも楽しみながら活動されているそうです。当園以外の活動としては、80歳ぐらいのお年寄りにハーモニカを教えたり、現在まで延800か所にもなる施設を訪問されているそうです。

堀江さんです！左の写真は、とても小さなペンダントのハーモニカを演奏するところです！



どんな活動をしているの??



毎週木曜日に各ユニットで、ハーモニカの演奏をしてくださっています。童謡をはじめとした多くのレパートリーがあり、お昼前のひとときにいつも素敵なお手本の演奏を聴かせてくれます。また、ひとつのハーモニカではなく、何本ものハーモニカを、曲によって使い分けて演奏をされています。

伴奏をしながらメロディーも吹いていただけるため、最初は聞いているだけだったご利用者が、何曲も聞いているうちに曲に合わせて手をたたき、中には歌いだす方も出てきます。きれいな音色を奏でる堀江さんの演奏は、いつもご利用者に大変喜ばれています。

演奏をしている様子です。
みなさん演奏に聞き入っています！

彩華園では、それぞれ自分のできることを活かした、様々なボランティアを募集しています。また、除草作業などへのご協力も歓迎しています。ご興味のある方はぜひ一度、お気軽にお問い合わせください。

特別養護老人ホーム彩華園 住所：埼玉県熊谷市上川上266 電話番号：048-524-1391
ホームページ：<http://park16.wakwak.com/~saikaen>

特別養護老人ホーム大寿園 (福岡県)

活躍するボランティア!!

ご紹介する「青龍太鼓」は、当園と同じ地区内にある、和太鼓のパフォーマンスを行う団体です。1997年の結成以来、団員20名程で、幼稚園や老人ホーム・イベント・結婚式などあらゆる場所に出演されており、みなさんに喜んでいただけることを第一に、楽しい唄と笑いを取り入れて演出されています。東日本大震災では、石巻市のみなさんのが少しでも元気になればと、現地に足を運び太鼓をたたいたり、一方ではチャリティーアイベントを開催し、赤十字の活動資金として寄付をいただきました。そんな青龍太鼓のみなさんは、日本古来からの太鼓の伝統を守り、明るく楽しい和太鼓チームとして、色々な方々に楽しんでもらいたいと、日々頑張っておられます。

青龍太鼓のみなさんのパフォーマンスの様子です!



どんな活動をしているの??



「地域交流納涼大会」でのひとこま。
迫力と感動のステージです!

みなさんには例年、当園の年1回の恒例行事である「地域交流納涼大会」に、演芸プログラムの大トリとして出演をお願いしています。そもそも当園と青龍太鼓との出会いは、当園職員が地域イベントでみなさんの出演を観た際に、当園でもこの太鼓の迫力と感動を入園者に伝えられたらと出演依頼をしたことが始まりで、今年で13年の付き合いとなります。当園での活動は年1回ですが、入園者やみんなに喜んでもらえるようにと「ちんどん屋・ひょっこ踊り・職員参加の神輿」など、毎回違った演出を準備してくださいます。

青龍太鼓の団長さんは、「同じ地域でこうして付き合いが続いているのも何かの縁だから、大切にしたい。この活動が少しでも地域貢献へ繋がればいいと思っている。」とのこと。そのような意志に感銘を受け、当園職員の中には団員に加入了るものもいます。来年も大寿園のみんなが、あの太鼓の迫力と感動、そして元気をもらいたいと楽しみに待っています。

大寿園では、それぞれのできることや、趣味や特技を活かした、様々なボランティアを募集しています。ご興味のある方は、当園ホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

特別養護老人ホーム大寿園 住所：福岡県福岡市西区今津520番地 電話番号：092-806-6100
ホームページ：<http://www.taijuen.jrc.or.jp/>

特別養護老人ホームやすらぎの郷 (福岡県)

活躍するボランティア!!

子育てサークル「ママのおひざで」さんをご紹介します。みなさんは月に一度、10人程の赤ちゃんを連れて当施設を訪れ、ご利用者と赤ちゃんが触れ合う機会を設けてくださっています。赤ちゃんが、たくさんの元気と笑顔を届けてくれており、みな和気あいあいと交流しています。サークル代表の金沢さんは、「現代社会は、核家族化で子ども達がお年寄りにふれあう機会が少ない時代。ボランティア活動は子ども達にとっても、貴重な時間になっています」とのこと。子どもたちの無邪気な笑い声は、ご利用者を活気づけてくれています。

子ども達がワイワイ元気に走りまわる様子を、
目を細めてうれしそうに眺めていらっしゃいます!



どんな活動をしているの??



広々とした敷地と緑の中で、
とても気持ちがいいです!

志免町赤十字介護奉仕団「ふきのとう」さんをご紹介します。みなさんには、当施設でシーツ交換や洗濯物整理など幅広い活動を15年も続けていただいている。最近では、屋外広場の遊歩道のリニューアルを機に、ご利用者との“散歩”的活動が加わりました。施設の敷地内にある、緑豊かな約2万3千m²の屋外広場のなかで、木々や草花、そしてさわやかな風につつまれ、ご利用者もボランティアさんとのおしゃべりがはずみます。

ご利用者が穏やかな生活の中で、季節や天候など自然の移ろいを感じ、変化のある毎日を過ごすことができるよう、「ふきのとう」のみなさんは様々な活動に取り組んでくださっています。

やすらぎの郷では、多くのみなさんにボランティア活動をしていただいている。ご興味のある方はぜひ一度、当園ホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

特別養護老人ホームやすらぎの郷 住所：福岡県糟屋郡志免町大字吉原600番地 電話番号：092-936-2022
ホームページ：<http://www1.bbiq.jp/yasuragi/yasuragizenntai.html>

特別養護老人ホーム豊寿園 (福岡県)

活躍するボランティア!!

豊寿園からは、当園開園以来活動されている『門司区福祉ボランティア一期会（いちごかい）』さんについてご紹介します。一期会さんがスタートしたのは20年前。現在の会員は70名で、豊寿園を含めた門司区内の福祉施設にて、定期的にボランティア活動を行っています。一期会会長の八坂和子さんは、豊寿園第三者委員をはじめ、門司を美しくする会や門司区ボランティア協議会の会長を務めていらっしゃる、とても頼もしい方です。最近は会員の高齢化が課題になっているとのことですが、どの会員も若々しく、豊寿園のご利用者に元気をたくさんくださっています。八坂会長曰く、「ボランティアが入っている施設は、開放された心地よい施設である。」とのことで、豊寿園との繋がりを大切にしてくださっています。



門司区福祉ボランティア一期会のみなさん!
(中央の女性が八坂会長)

どんな活動をしているの??



夏祭りでの活動の様子



一期会さんは週1回のリネン交換と、月2回のご利用者との交流をしてくださいます。リネン交換は、シーツなどが入ったカートを準備し、どの居室のシーツを交換するかを伝えると、ものの数分で張り替えてくださいます。一期会さんからリネン交換の方法を学んだ新人職員も多数います。リネン交換以外には各会員の特技などを活かし、歌や紙芝居、ご利用者のお話相手をしてくださいます。施設の職員とはまた違う、経験も年代も違う様々な方に関わっていただき、ご利用者の生活に良い刺激となっています。その他には、園内行事のお手伝いにも来てくださいます。日頃からご利用者に関わっているため、職員がバタバタとしている時でもとても柔軟に対応してくださり、共に行事を盛り上げてくださっています。豊寿園と共に歩んでくださっている一期会さんは、今やなくてはならない存在です。

豊寿園では、団体・個人を問わず、ボランティアの受け入れを行っています。ボランティアに興味をお持ちの方は、当園ホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

特別養護老人ホーム豊寿園 住所：福岡県北九州市門司区大字畠1808-5 電話番号：093-481-1121
ホームページ：http://www.nissekihoujuen.jp/other_voranteer.html

特別養護老人ホーム錦江園 (鹿児島県)

活躍するボランティア!!

ボランティアグループ「さわやか会」のみなさんをご紹介します。さわやか会は、平成11年8月に結成され、今年で活動14年目を迎えます。みなさんは主に鹿児島県内の特別養護老人ホームや通所介護施設などで、演芸を披露されています。披露する演芸は、唄に踊り、津軽三味線や天吹にコメディーなど多種多彩です。「ボランティアは、上手下手は二の次。相手が喜ばないのは、ボランティアではない」を信条に、ただ見てくれ聞いてくれではなく、常に何をしたら喜んでいただけるのかを追求し続けながら、一昨年は273回、昨年は343回の依頼を受け、この14年間一度も断ることなく、活動を続けていらっしゃいます。



さわやか会のみなさんです！唄や踊りの軽快なリズムに、自然と手拍子がわきます！！

どんな活動をしているの??



また、来っこいやいな～
(また、来てくださいね!)

当園では年に数回、毎年1月と「夏祭り」などの行事の際に出演を依頼し、みなさん来ていただいている。次々と披露される様々な演芸に、ご利用者も一緒に唄を歌ったり、舞台へ出て踊られたりと、たいへん喜んでいます。

演芸活動の最後に、みんながご利用者お一人おひとりと握手をしていく際、「来年も待っているね」「ありがとう」という声がたくさん聞かれます。毎回心があたたまる活動に、ご利用者も元気をいただき、笑顔があふれています。

錦江園では、行事のお手伝い、園内の清掃及びご利用者との対話などをしてくださるボランティアを募集しています。ご興味のある方は、当園ホームページをご参照の上、お気軽に問い合わせください。

特別養護老人ホーム錦江園 住所：鹿児島県鹿児島市平川町2530番地1* 電話番号：099-261-2789

ホームページ：<http://www.kinkouen.jp/>

(※住所については、平成24年11月から約1年間、改築工事のため一時的に鹿児島県鹿児島市平川町696に変更)

那霸市安謝福祉複合施設 (沖縄県)

※日本赤十字社が指定管理者として運営しています。

活躍するボランティア!!

当施設内にある「安謝特別養護老人ホーム」でボランティア活動を行ってくださっている「レク体操ボランティア」のみなさんをご紹介します。レク体操とは、音楽のリズムに合わせて体を動かす、簡単なダンスのような体操のことです。

みなさんは普段、レク体操サークルとして、当施設内にある「安謝老人憩の家」で活動をされています。サークルのみなさんが当ホームを見学する機会があり、講師である美尚恵美子先生がホームのご利用者との交流を希望したことから、レク体操ボランティア活動がはじまりました。みなさんの元気の秘訣は、「よく食べ、体を動かすこと、そして多くの方と語り合い笑うこと」。元気印のレク体操ボランティアメンバーです。



レク体操サークルのメンバーは、全部で12名
いらっしゃいます!
(右端の女性が講師の美尚先生)

どんな活動をしているの??



ボランティアもご利用者も、
楽しみながら活動をしています!

毎月第1・3月曜日に、ホームで活動を行ってくださっています。レク体操は、音楽に合わせて体を動かすことが目的であるため、時々ご利用者のなじみの曲を取り入れ、テンポにも工夫をしています。また、車椅子に腰かけたままの方や、麻痺のある方でも参加できるように、動きに配慮した活動を行っています。

「良い運動になる」と活動を心待ちにするご利用者や、「体操が終わった後の会話も楽しみ」とおっしゃっているご利用者も多く、とても貴重な時間となっています。

当施設では、様々な分野のボランティアを募集しています。1日の中で空いている時間を、ボランティア活動に利用しませんか?ご興味のある方は、当施設ホームページをご参照の上、お気軽にお問い合わせください。

那霸市安謝福祉複合施設 住所: 沖縄県那霸市安謝2-15-2 電話番号: 098-862-4321
ホームページ: <http://www.ajafukushi.join-us.jp/>

障害者福祉施設

ボランティア通信

日本赤十字社北海道支部点字図書センター (北海道)

活躍するボランティア!!

当センターで長年にわたり活躍する、二つの奉仕団をご紹介します。一つめは、「札幌市点訳赤十字奉仕団」です。昭和33年に結成されたこの奉仕団は、点訳図書の制作活動を行っています。平成24年3月末で88名の団員が在籍し、今まで制作した点訳図書は2,803タイトルになります。二つめは、「札幌音訳赤十字奉仕団（通称「点友会」）」です。こちらの奉仕団は昭和39年に結成され、録音図書の制作活動を行っています。平成24年3月末で39名の団員が在籍し、今まで作製した本は1,726タイトルになります。

点訳図書制作のため、点字を学んでいる様子です！
みなさん良い本を作らため真剣な眼差しです！



どんな活動をしているの??



録音図書制作の様子です。
小さなスタジオの中で何日も録音して、
一つの本が出来上がります！

二つの奉仕団は視覚障害者の支援事業として、週3～5日、点訳・音訳の本を制作しています。団員は家庭の主婦の方が多く、それぞれ時間をやりくりして活動をしています。点訳・音訳の製作はいずれも根気と努力のいる作業です。視覚障害者の方が興味を持ち、喜んで読んでくださる書籍の選択に頭を悩ませます。また、読み合わせや編集など一人では難しい作業では、みなさんで協力し、楽しんで制作をしています。

裾野を広げる活動も積極的に実施しており、小・中・高校生向けの赤十字出前講座（点字の体験学習など）や、一般の方々を対象とした点訳・音訳の研修会の開催などもしています。私どもの事務所はいつも、奉仕団のみなさんのおかげで活気に満ちています。

赤十字奉仕団を通じた点訳・音訳のボランティア活動にご興味のある方は、当センターにお気軽に問い合わせください。

日本赤十字社北海道支部点字図書センター 住所：札幌市中央区北2条西7丁目1 電話番号：011-271-1323
ホームページ：http://www.hokkaido.jrc.or.jp/m2_09fukushi.html

日本赤十字社千葉県支部義肢製作所 (千葉県)

義肢製作所でボランティアはできるの??

義肢装具の製作には主に①型取り、②仮合せ、③支給の行程があり、義肢・装具を作ることは技術があれば誰でも出来ますが、①～③の作業は医療行為であるため、国家資格を有した義肢装具士でなければなりません。そのため、義肢装具の製作にあたりボランティアの方に直接お手伝いいただくことはできません。しかし、完成した義肢・装具をご利用者にお渡しする際に入れる化粧袋については赤十字奉仕団の方に作成していただきしており、ご利用者の方から好評を得ています。



義肢装具製作作業の様子。4名の義肢装具士が、ご利用者により良い義肢装具を提供できるよう日々活動しています。

どんな活動をしているの??



職場体験学習で訪れた中学生。
足型を探る作業の様子です！

義肢製作所は製作の場として以外にも、施設見学や職場体験学習の場として活用しております。昨年度は施設見学が18団体、職場体験学習には7校32名の学生が来所されました。施設見学では、義肢製作所の起りから、義肢装具の種類と製作方法について、そして体の不自由な方が義肢装具を使用することで日常生活にどのような良い影響をもたらすか等についても説明をしています。職場体験学習では、実際の制作過程と同様に、互いに自分たちの足型を探る作業などの体験をしてもらいます。また、模擬義足を使用した義足の疑似体験をしてもらうことで、足を失った人がどのような不自由を感じながら生活しているかを体験してもらいます。

義肢製作所ではこのような活動を通じて赤十字事業への理解を深めてもらうとともに、障がい者への理解促進に努めています。

義肢製作所では、今後も施設見学や職場体験学習の受け入れを積極的に行っていく予定です。施設に興味のある方、義肢装具士の仕事に興味のある方は、ホームページをご参照の上、お気軽に問い合わせください。

日本赤十字社千葉県支部義肢製作所 住所：千葉県千葉市中央区千葉港5-7 電話番号：043-241-7535
ホームページ：<http://www.chiba.jrc.or.jp/work/w-welfare.php>

神奈川県ライトセンター (神奈川県)

※日本赤十字社が指定管理者として運営しています。

活躍するボランティア!!

神奈川県ライトセンターで活動している神奈川県視覚障害援助赤十字奉仕団（通称“県視援奉”）は、当県で最大の人数と活動実績を誇る奉仕団です。団員は700人を超え、活動は点訳・音声訳・拡大図書製作など視覚障害者への情報提供から、外出援助、共に楽しむレクリエーション、パソコン操作支援など多岐にわたっています。規模の大きい県視援奉は活動ごとの部会に分かれています。団全体のコーディネートをする委員長を中心に、それぞれの部会長のもと、一人ひとりが専門的な技術を発揮しながら視覚障害者への支援を行っています。これに加え、組織全体の運営を円滑にするため、事務局を設置して様々な連絡調整を行っています。



各活動を支える県視援奉の事務局の様子です！
いつも活気があり、とても頼りになります！！

どんな活動をしているの??



シンクロナイズドスイミングの
練習風景！

視覚障害者に対する支援活動として、点訳や音声訳、外出援助などは有名ですが、ライトセンターの中で活動する県視援奉にはその他にも興味深いものがあります。それがスポーツ介助です。施設内には視覚障害者が安心・安全にスポーツやレクリエーション活動ができるよう、体育館やトレーニング室、プールなどがあります。これは国内の視覚障害者情報提供施設の中でも稀で、そこにボランティアが関わっていることは珍しいことです。当センターではプールを利用して、水中運動教室や水泳教室を開いています。これらの教室での視覚障害者の安全確保や運動のサポートは県視援奉のボランティアが行っています。ボランティアが一緒のため、安心して、そして効果的に運動することができると、教室参加者のみなさんは喜んでくださっています。

当センターでは視覚障害援助ボランティアを養成するための講座を開催しています。興味のある方は、当センターホームページをご覧いただけます。お気軽にお問い合わせください。

神奈川県ライトセンター 住所：神奈川県横浜市旭区二俣川1-80-2

電話番号：045-364-0023 ホームページ：<http://www.kanagawalc.org/>

徳島赤十字ひのみね総合療育センター ひのみね学園・療育園・療護園（徳島県）

活躍するボランティア!!

当センターでは、読み聞かせや陶芸など、多くの方が様々なボランティア活動をされていますが、今回はその一人である「笹田早苗さん」をご紹介します。笹田さんは5月に小松島市社会福祉協議会を通じて、ボランティアを希望されてきました。「特技を活かして様々な人に癒しを届けることができれば」と、数年前にアロマ環境協会認定のアロマテラピーアドバイザーの資格を取得されたそうで、当センターではご利用者にハンドアロママッサージをしていただいている。

笹田早苗さんです。
当施設以外に、病院や高齢者施設でも
ボランティア活動をされているそうです！



どんな活動をしているの??



ハンドマッサージの様子。
とても気持ちよさそうですね！

笹田さんは月1回、ハンドアロママッサージをしてくれています。ご利用者には、「良い香りの中でリラックスができる、気持ちいい！」と大好評です。マッサージは一人20分をかけてじっくり行き、一日3名にしてくださっています。笹田さん自身もご利用者との会話を楽しめているそうで、「その方の人柄や、何気ない会話の中から見られる笑顔には癒される」とおっしゃっていました。アロママッサージは、終わったあとにも香りが漂うので、皆が幸せな気分になることができます。

「障害の有無に関係なく、人は対等。ボランティアは施しではない。自分たちも来てくださる方に何かを与えることができればと思っている」とご利用者の村上さんがおっしゃるように、ご利用者とボランティアが共に楽しめる雰囲気が、自然とつくられています。

当センターでは、団体・個人を問わず、ボランティアの受け入れを行っています。ボランティアに興味をお持ちの方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。特技がなくても大丈夫ですので、気軽に会話を楽しめる『友達』をお待ちしています！

徳島赤十字ひのみね総合療育センター 住所：徳島県小松島市中田町新開4-1 電話番号：0885-32-0903
ホームページ：<http://www.hinomine-mrc.org/>

複合型施設

ボランティア通信

日本赤十字社総合福祉センター (東京都)

活躍するボランティア!!

日本赤十字社総合福祉センター(通称“レクロス広尾”)は、今年4月にオープンした、できたてほやほやの施設です。この新しくスタートを切ったレクロス広尾のボランティア第1号に名乗りを上げてくれたのが、早稲田小学校の保護者を中心に2005年に結成されたミュージックベルサークル「Wasedaノエルズ」さんです。「ノエルズ」の始まりは2001年に遡ります。ニューヨークでのテロ事件を受け、「平和の祈りをこめて世界中にベルの音を響かせよう」との思いから、2001年のクリスマスにタイ、バンコクでノエルズが発足しました。その思いを引き継ぐノエルズが各地で誕生し、Wasedaノエルズもその一つとして結成。国内の児童館・幼稚園・小学校・高齢者センター・地域イベント等で子どもから大人まで多くの人の心を癒しています。



7月5日に行われたミュージックベルコンサートの様子です！

どんな活動をしているの??



レクロス広尾は総合福祉施設ということもあり、コンサートの参加者は150名と大盛況でした！

7月5日に、レクロス広尾の地域交流ホールにおいて、Wasedaノエルズのみなさんによるミュージックベルコンサートが開催されました。コンサートが始まると、ミュージックベルの澄んだ音色は「七夕」、「川の流れのように」といった聞きなれた曲を一味違った美しい旋律に変え、施設入居者のみなさんを楽しませます。曲間のベル交換の時間もMC美鈴さんの軽快なトークで飽きさせることはありません。さらに、参加者にもベルが手渡され、みんなで「東京ラプソディ」を鈴唱。コンサートは1時間と短い時間ではありましたが、みなさん大いに興奮されていたようで、とても楽しい時間になりました。Wasedaノエルズさんの今後の活動は、東日本大震災の被災地である岩手県一関市(7/28)、宮城県石巻市(7/29)と続きます。被災地でもミュージックベルの音色で心の癒しと楽しみを与えてくれるに違いありません。

レクロス広尾では団体・個人を問わず、ボランティアを募集しています。ボランティアに興味をお持ちの方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

日本赤十字社総合福祉センター 住所：東京都渋谷区広尾4-1-23 電話番号：03-6861-4800
ホームページ：<http://hiroo.jrc.or.jp>

資料編

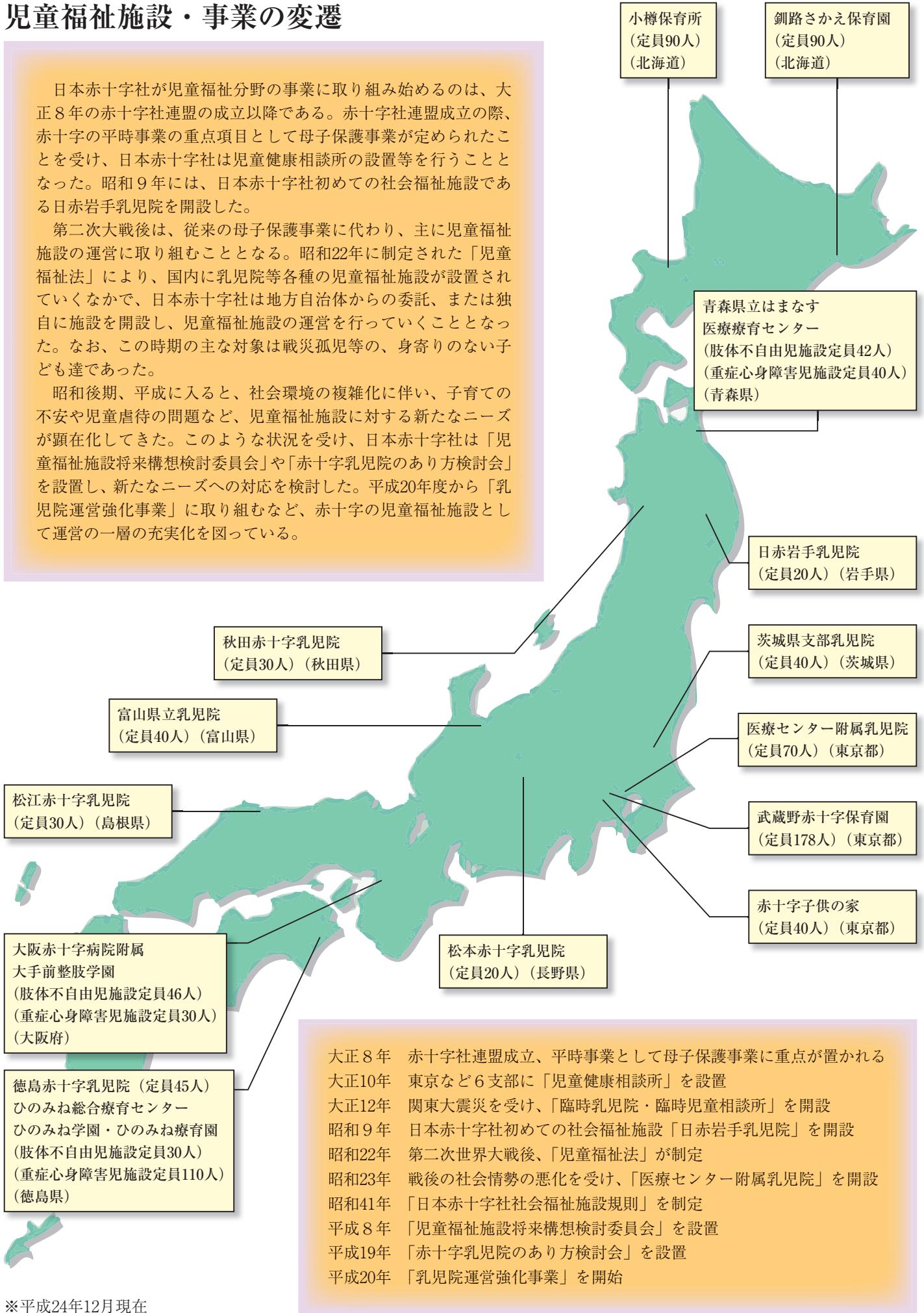
- ◆児童福祉施設・事業の変遷
- ◆老人福祉施設・事業の変遷
- ◆障害者福祉施設・事業の変遷
- ◆沿革　社会福祉施設の設置・運営状況

児童福祉施設・事業の変遷

日本赤十字社が児童福祉分野の事業に取り組み始めるのは、大正8年の赤十字社連盟の成立以降である。赤十字社連盟成立の際、赤十字の平時事業の重点項目として母子保護事業が定められたことを受け、日本赤十字社は児童健康相談所の設置等を行うこととなった。昭和9年には、日本赤十字社初めての社会福祉施設である日赤岩手乳児院を開設した。

第二次大戦後は、従来の母子保護事業に代わり、主に児童福祉施設の運営に取り組むこととなる。昭和22年に制定された「児童福祉法」により、国内に乳児院等各種の児童福祉施設が設置されていくなかで、日本赤十字社は地方自治体からの委託、または独自に施設を開設し、児童福祉施設の運営を行っていくこととなった。なお、この時期の主な対象は戦災孤児等の、身寄りのない子ども達であった。

昭和後期、平成に入ると、社会環境の複雑化に伴い、子育ての不安や児童虐待の問題など、児童福祉施設に対する新たなニーズが顕在化してきた。このような状況を受け、日本赤十字社は「児童福祉施設将来構想検討委員会」や「赤十字乳児院のあり方検討会」を設置し、新たなニーズへの対応を検討した。平成20年度から「乳児院運営強化事業」に取り組むなど、赤十字の児童福祉施設として運営の一層の充実化を図っている。



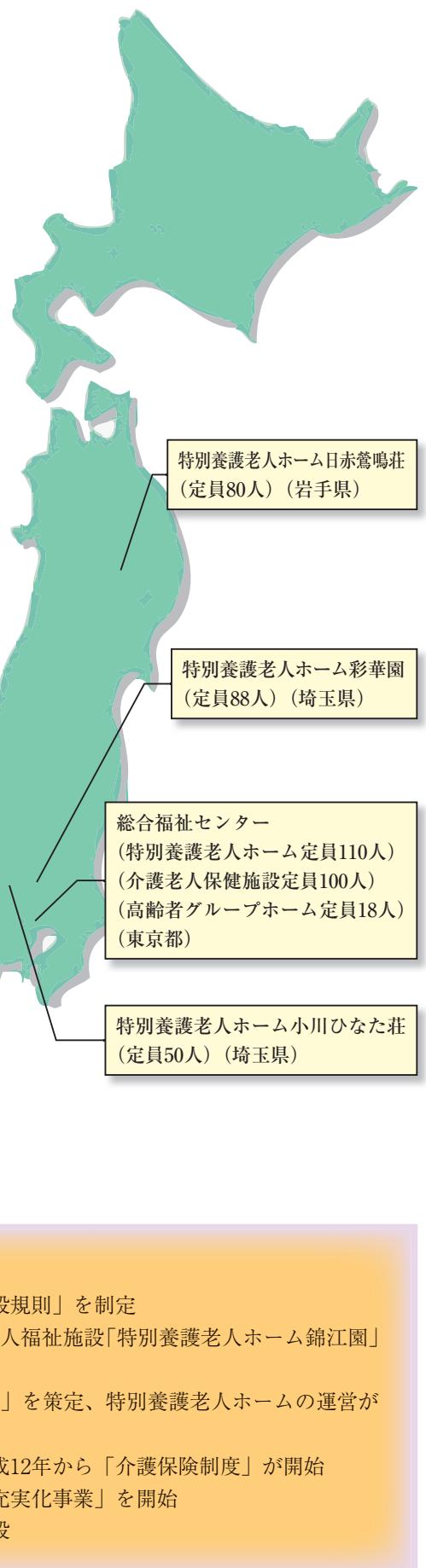
※平成24年12月現在

老人福祉施設・事業の変遷

日本赤十字社が老人福祉分野の事業に取り組み始めるのは、第二次大戦後、昭和38年に「老人福祉法」が制定されて以降である。昭和49年に、日本赤十字社として初の老人福祉施設として、鹿児島県に特別養護老人ホーム錦江園を開設することとなった。

昭和52年には、日本赤十字社創立100周年に伴い策定された長期計画“行動する赤十字”に、特別養護老人ホームの運営が重点項目として盛り込まれたことから、その後地方自治体等からの要請を基に、次々と老人福祉施設を開設していくことになった。

平成に入ると、高齢化の急速な進行がみられる一方、平成9年に「介護保険法」が制定されるなど、老人福祉を取り巻く環境は大きく変化している。そのような状況の中、改めて赤十字の特色を發揮した、地域に選ばれる社会福祉施設を目指すため、平成22年度から「特別養護老人ホーム運営充実化事業」に取り組み、また平成24年には複合型施設である「総合福祉センター」を開設した。



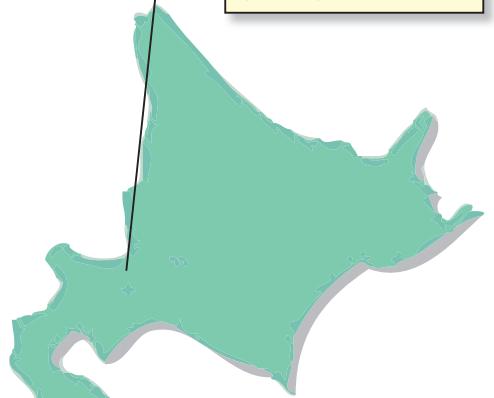
※平成24年12月現在

障害者福祉施設・事業の変遷

日本赤十字社が障害者福祉分野の事業に取り組み始めるのは、第二次大戦後、昭和24年に「身体障害者福祉法」が制定されて以降である。この法律による国の援護を補完し、法外援護の徹底を期すために、日本赤十字社は厚生省、都道府県、その他関係機関と協力し、昭和24年に東京・大阪など5支部で義肢の巡回修理相談等を開始することとなった。昭和27年には主に戦傷病者の自立支援を目的に、千葉県支部義肢製作所を開設した。

昭和後期には神奈川県から視聴覚障害者施設を受託、徳島県から身体障害者療護施設を受託、また北海道に点字図書センターを開設した。現在、全国で5つの障害者福祉施設（複合型施設である総合福祉センターを含む）の運営を行っている。

点字図書センター
(利用登録者数392人)
※平成23年度
(北海道)



- 昭和24年 第二次世界大戦後、「身体障害者福祉法」が制定
昭和24年 東京など5支部で「義肢の巡回修理相談、開眼検診、補聴器修理相談」を開始
昭和27年 戦病者自立支援を目的に「千葉県支部義肢製作所」を開設
昭和40年 「神奈川県点字図書館」(現在の神奈川県ライトセンター)を受託
昭和41年 「日本赤十字社社会福祉施設規則」を制定
昭和58年 「ひのみね療護園」(現在の徳島赤十字ひのみね総合療育センターひのみね療護園)を受託
昭和61年 「北海道支部点字図書センター」を開設
平成18年 「障害者自立支援法」が制定
平成24年 「総合福祉センター」を開設

※平成24年12月現在

沿革 ~社会福祉施設の設置・運営状況~

※平成24年12月現在

	日本赤十字社が設立した施設	譲渡を受けた施設〈譲渡元〉	運営を受託している施設〈受託元〉
昭和9年度	日赤岩手乳児院		
23年度	日本赤十字社医療センター附属乳児院		
24年度	秋田赤十字乳児院		松江市立乳児院〈松江市〉 *昭和31年度に日本赤十字社直営に切替
25年度	赤十字子供の家		
	日本赤十字社茨城県支部乳児院		
26年度			有珠優健学園〈北海道〉 *平成17年3月31日に運営委託を廃止 武藏野赤十字保育園〈武藏野市〉 *平成14年度に日本赤十字社直営に切替 松本市乳児院〈松本市〉 *昭和29年度に日本赤十字社直営に切替
27年度	日本赤十字社千葉県支部義肢製作所		富山県立乳児院〈富山県〉
28年度			徳島県立徳島乳児院〈徳島県〉 *平成18年度に日本赤十字社直営に切替
29年度		松本赤十字乳児院〈松本市〉	
31年度		松江赤十字乳児院〈松江市〉	
34年度			徳島県立ひのみね整肢医療センター ひのみね学園〈徳島県〉 *平成18年度に日本赤十字社直営に切替
36年度	日本赤十字社小樽保育所		
	はまなす学園 *昭和58年度に青森県立施設に移管		青森県立はまなす学園〈青森県〉
40年度			神奈川県点字図書館〈神奈川県〉 *昭和49年度にライトセンターとなる
42年度			大阪赤十字病院附属大手前整肢学園〈大阪府〉 *平成19年度に日本赤十字社直営に切替
45年度	日本赤十字社釧路さかえ保育園		
49年度	日本赤十字社鹿児島県支部 特別養護老人ホーム錦江園		神奈川県ライトセンター〈神奈川県〉
54年度	日本赤十字社福岡県支部 特別養護老人ホーム大寿園		
	特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘		
58年度			徳島県立ひのみね整肢医療センター ひのみね療護園〈徳島県〉 *平成18年度に日本赤十字社直営に切替
			青森県立はまなす学園〈青森県〉 *平成18年度にはまなす医療療育センターとなる
60年度	日本赤十字社埼玉県支部 特別養護老人ホーム小川ひなた荘		
61年度	日本赤十字社北海道支部点字図書センター		
平成4年度			徳島県立ひのみね整肢医療センター ひのみね療育園〈徳島県〉 *平成18年度に日本赤十字社直営に切替
8年度			やすらぎの郷〈福岡都市圏広域行政事業組合〉 *平成17年度に日本赤十字社直営に切替
9年度	日本赤十字社福岡県支部 特別養護老人ホーム豊寿園		
10年度			那覇市安謝福祉複合施設〈那覇市〉
12年度			埼玉県立彩華園〈埼玉県〉 *平成17年度に日本赤十字社直営に切替
14年度		武藏野赤十字保育園〈武藏野市〉	
17年度		日本赤十字社埼玉県支部 特別養護老人ホーム彩華園〈埼玉県〉	
		日本赤十字社福岡県支部 特別養護老人ホームやすらぎの郷 〈福岡都市圏広域行政事業組合〉	
18年度		徳島赤十字乳児院〈徳島県〉	
		徳島赤十字ひのみね総合療育センター ひのみね学園〈徳島県〉	
		徳島赤十字ひのみね総合療育センター ひのみね療護園〈徳島県〉	
		徳島赤十字ひのみね総合療育センター ひのみね療育園〈徳島県〉	青森県立はまなす医療療育センター〈青森県〉
19年度		大阪赤十字病院附属大手前整肢学園〈大阪府〉	
24年度	日本赤十字社総合福祉センター		
合計	15	10	4

